

フラッグの意味 3-1

■ブルーフラッグ

●意味

・ブルーフラッグは、この優先権を放棄し、後続車に優先権を移譲せよという命令である。

●注意事項

- ・優先権の移譲にあたっては、ストレートなど抜きやすい環境で先行車がアクセルをやや緩めること。
- ただし、走行ラインを変化させる必要はない。
- ・追い越しにあたっては、後続車の追い越し責任とする。

■チェッカーフラッグ

●意味

- ・走行周回数、まやは、走行時間を先頭車両が満たした場合、先頭車両以下に振動提示し、競技の終了を告げる。
- ・チェッカーフラッグ通過後は追い越し禁止とする。

●注意点

- ・チェッカーフラッグを受けた後は、最高時速60キロを義務とし、そのポジションと位置関係を維持して走行すること。
- ・最終車両が通過した際に、管制官よりポストオフィシャルに対してそのゼッケンが伝えられる。
ポストオフィシャルは、最終車両ゼッケン車が通過した後にコースの点検清掃を行う。
したがって、チェッカーフラッグを見逃した、いわゆるWチェッカーの場合、コース上のオフィシャルに重大な事故を与えることとなるのでチェッカーを見逃さないこと。
- ・Wチェッカー車とドライバーには、失格など極めて重いペナルティが課せられる。

■イエローフラッグ

★★1本振動、または、1本提示★★

●理由

- ・コース外のゾーンに車輛などが停止している状態、および、その車輛を救出している状態を示す。

●意味

- ・イエローフラッグ区間による追い越しは許可しない。イエローフラッグを提示したポストを通過した時点で追い越しを禁止する。
- ・イエローフラッグの解除は、グリーンフラッグの提示、または、次のポストを通過した地点からとなる。

●注意事項

- ・コースアウトしたドライバーはエンジンを停止し、ドアをロックせずに閉め、すぐにバリアの外へ退避すること。その際、ヘルメットを着用した状態であること。
- ・イエローフラッグ中の走行速度は時速60キロとする。アクセルオフによって減速させ、急ブレーキによる減速をしてはならない。そのポジションと位置関係を維持して走行することが義務。
- ・そのポジションと位置関係を維持する以上の速度であると管制やポストオフィシャルが判断した場合、ペナルティの対象とする。
- ・イエローフラッグ中の通過速度が時速60キロ以下であることが確認できない場合、オフィシャルを救出に向かわせない。
- ・イエローフラッグがコースのいずれかで提示されている状態において、別のイエローフラッグを必要とする事故やスピンなどを起こした車輛は極めて強いペナルティの対象とする。

★★2本振動、または、2本提示★★

●理由

- ・コース上、または、コースサイドなどに停止した車輛、または、ドライバーが極めて危険な状態である事を知らせる。
- ・走行中の車輛もコースアウトの可能性があることを強く認識すること。

●意味

- ・イエローフラッグ区間による追い越しは許可しない。イエローフラッグを提示したポストを通過した時点で追い越しを禁止する。
- ・イエローフラッグの解除は、グリーンフラッグの提示、または、次のポストを通過した地点よりとなる。
- ・危険度が高いと管制が判断した場合、ひとつ前のポストからイエローフラッグを提示することがある。

★★フルコースコーション★★

●理由

- ・オフィシャルが、コース上、または、コースサイドに停止した車輛、または、ドライバーを救出に向かうなどの作業を行う際に実施する。にあたり、コース全体でスピードコントロールがふさわしいと管制官が判断した場合に提示する。

●注意点

- ・フルコースコーション中に、事故や停止した車輛は失格とする。

●再スタート

- ・ローリングスタートを適用する。
- ・各車がスタートラインを通過した時点より再スタートとする。

★★SC(セーフティカー)導入★★

●理由

- ・事故処理において、全車の走行スピードなどが必要であると判断した場合にSCによる先導走行を行う。

●方法

- ・全コースポストにて、イエローフラッグとともに提示する。
- ・基本的に先頭車輛の前にSCを導入し先導する。
- ・自体の緊急性によって走行着順に関係なく走行車輛前に導入することがある。その際、SCが導入された走行状態を維持しながら走行すること。
- ・SCがコースインした際に先頭車輛の前でなくとも、その状態でSC先導の走行を行う。

●ピットアウトについて

- SC導入時にピットインしていた車輛の再コースインは、ピットエンドの信号が青になる、または、オフィシャルの指示によって行う。
- ・イエローフラッグを提示したポストを通過した時点で追い越しを禁止し、時速60キロに緩やかに減速すること。

●注意点

- ・最高時速60kmに減速し、そのポジションと位置関係を維持して走行することを義務とする。ただし、急ブレーキは行わないこと。
- ・そのポジションと位置関係を維持する以上の速度であると管制やポストオフィシャルが判断した場合、ペナルティの対象とする。
- ・全車が最高速度60km以下であることが確認できない場合、オフィシャルを救出に向かわせない。
- ・SC導入中に、事故や停止した車輛は失格とする。

●再スタート

- ・ローリングスタートを適用する。
- ・各車がスタートラインを通過した時点より再スタートとする。

フラッグの意味 3-3

■オイルフラッグ

●意味

・コース上のオイルなどにより、滑りやすくなっていることを示している。

●注意点

・フラッグポストとドライバーポジションのは違うため、オイルフラッグの有無によって路面を確認するのではなく、ドライバー自身が常に確認していることが重要。

■オレンジディスクフラッグ

●意味

・車輻異常、ドライビング異常に対して、ゴールポストよりゼッケンとともに提示される。

・ピット入り口において、修理義務、または、ドライビングに関するオフィシャルの指示を受けること。

●注意点

・この旗が提示された車輻は、コースの右端を時速60キロで進むこと。

・オイルや冷却水の流出は車輻に著しい損害を与える場合があるため、完全にコース外において車輻を停止させること。

■ブラックフラッグ

●意味

・ドライバーに対して提示される。

・この旗は、ペナルティが課せられていることを示している。

●注意点

・ブラックフラッグと共にペナルティ内容を示す場合もあるが、ピットレーン入り口でオフィシャルの指示を受けること。

■ホワイトフラッグ

●意味

・前方に低速走行車輻が走行していることを示している。

・十分な注意をはらって走行すること。

■レッドフラッグ

●意味

・重大な事故が発生した場合に全コースポストで提示される。

・停止車輻がコース上で停止、または、車輻の一部がコース上にあるなど、

SCによる走行コントロールでは回収作業が危険と判断された場合などに、全コースポストで提示する。

・提示された時点で競技は中止となり、車輻はピットレーンへ戻ること。その際の追い越しは禁止。

●注意点

・レッドフラッグでの追い越しは極めて危険であると判断し、失格とする。

・レッドフラッグ中のコースアウトや事故、停止した場合は、失格とする。

・旗が提示された地点から、最高時速60キロを義務とし、そのポジションと位置関係を維持して走行すること。

・赤旗の解除、再スタート、競技中止は、ピットレーンにて、オフィシャルから指示にて行う。